

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	独立行政法人国立高等専門学校機構 熊本高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	情報通信エレクトロニクス工学科		0	0	21	21	7	
	制御情報システム工学科				16	16	7	
	人間情報システム工学科				8	8	7	
	機械知能システム工学科				13	13	7	
	建築社会デザイン工学科				20	20	7	
	生物化学システム工学科				23	23	7	
	専攻科電子情報システム工学専攻		0	0	22	22	7	
	専攻科生産システム工学専攻				29	29	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校の公式HP上で、WEBシラバスにて公表 https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicDepartments?school_id=47
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由) なし

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	独立行政法人国立高等専門学校機構 熊本高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

1. 理事（役員）名簿の公表方法

[https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/upload-file%20folder/02_%E4%BA%BA%E4%BA%8B/NewFolder/yakuinmeibo\(20200401\).pdf](https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/upload-file%20folder/02_%E4%BA%BA%E4%BA%8B/NewFolder/yakuinmeibo(20200401).pdf)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	熊本大学長	2016年4月1日～ 2024年3月31日	理事長
常勤	豊橋技術科学大 学理事・副学長	2020年4月1日～ 2022年3月31日	研究・産学連携 情報システム
非常勤	東京大学教授	2014年4月1日～ 2022年3月31日	男女共同参画推進
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	独立行政法人国立高等専門学校機構 熊本高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業計画(シラバス)の作成過程 <p>教務委員会及び専攻科委員会(専攻部会)を通じて、前年度の12月の時期に、各科目担当教員に作成を依頼している。また、非常勤教員については、担当のホストプロフェッサー(サポート教員)を介して、次年度のシラバス作成を依頼している。</p> <p>シラバスでは、高専機構統一のWebシラバスを利用しており、授業方法(講義、演習、実験、実習の別)、授業概要、年間スケジュールを記載している。成績評価については、科目ごとに到達目標を示し、成績評価方法・基準について明記している。</p> <p>各担当教員のシラバスが作成された段階で、シラバスの内容等の相互チェック、教務委員及び専攻科委員会(専攻部会)による点検を実施している。</p> ・ 授業計画(シラバス)の公表時期及び公表方法 <p>教務委員会及び専攻科委員会(専攻部会)にて、最終確認後、前年度の3月中に本校のホームページ上で公表している。</p> 	
授業計画書の公表方法	本校の公式HP上で、Webシラバスにて公表 https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicDepartments?school_id=47
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

<本科>

各科目については、シラバスに記載した評価基準および方法を用いて、担当教員が成績評価をおこなっている。各科目の成績評価方法として採用されている試験、レポート等の評価結果は原則として学生に開示している。また、卒業論文については、学科単位で卒研発表、論文審査等を行い、評価シートを用いて、取得項目毎に複数教員で審査を行っている。最終的に総合評価を行い、単位認定などを学科会議で最終判定を行っている。

最終的な単位及び成績認定については、「熊本高等専門学校学業成績評価並びに進級及び卒業の認定等に関する規則」に基づき、教務委員会、専攻科委員会で確認したのち、企画運営会議（H30年度までは運営会議）で認定している。

なお、各科目の成績については、前期中間、前期末、後期中間、学年末に自己点検シート、成績通知書によって学生本人、保護者にも成績評価結果について確認をおこなってもらっている。また、前期中間、前期末、後期中間、学年末の各時点で、学生の履修状況及び学修成果状況について教務委員会、専攻科委員会及び所属学科で確認し、学修指導に反映させている。

<専攻科>

各科目については、シラバスに記載した評価基準および方法を用いて、担当教員が成績評価をおこなっている。各科目の成績評価方法として採用されている試験、レポート等の評価結果は原則として学生に開示している。

また、専攻科の特別研究については、学生に毎月研究実施報告書を提出してもらい、年度末には各専攻の系単位で研究発表を行い、論文と特別研究評価報告書に基づき主査、副査が評価し、専攻科委員会（専攻部会）で確認を行っている。

最終的な単位及び成績認定については、「熊本高等専門学校専攻科電子情報システム工学専攻における授業科目の履修方法等に関する規則」又は「熊本高等専門学校専攻科生産システム工学専攻の授業科目の履修等に関する規則」に基づき、専攻科委員会（専攻部会）で確認した後、企画運営会議（H30年度までは運営会議）で認定している。

なお、各科目の成績については、前期末、学年末に、成績表を学生に配付し、成績評価結果について確認を行ってもらっている。また、前期末、学年末の各時点で、学生の履修状況及び学修成果状況について、専攻科委員会（専攻部会）で確認し、学修指導に反映させている。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

<本科>

成績評価の順位については、「熊本高等専門学校学業成績評価並びに進級及び卒業の認定等に関する規則」の中で規定しており、キャンパス（熊本キャンパス及び八代キャンパス）ごとに学生便覧に掲載し、本校のホームページ上に公開している。

また、成績の分布状況の把握については、前期中間、前期末、後期中間、学年末の各期において成績順位を算定し、担任、教務委員会、各学科で確認している。また、学生および保護者に成績通知書を送付し、中間時点での成績及び最終成績について確認できるようにしている。

なお、2020年度のキャンパスごとの指標については、以下のとおりです。

【熊本キャンパス】

成績評価の順位については、次の算定式によるGPAポイントで決定する。

算定式：{(S評価科目の単位数×4点) + (A評価科目の単位数×3点) + (B評価科目の単位数×2点) + (C評価科目の単位数×1点)} ÷ (履修科目の合計単位数)

【八代キャンパス】

成績評価の順位については、次の算定式によるGPAポイントで決定する。

算定式：{(S評価科目の単位数×4点) + (A評価科目の単位数×3点) + (B評価科目の単位数×2点) + (C評価科目の単位数×1点)} ÷ (履修科目の合計単位数)

<専攻科>

成績評価の順位については、「熊本高等専門学校専攻科電子情報システム工学専攻における授業科目の履修方法等に関する規則」及び「熊本高等専門学校専攻科生産システム工学専攻の授業科目の履修等に関する規則」の中で規定しており、キャンパス（熊本キャンパス及び八代キャンパス）ごとに専攻科学生便覧に掲載し、本校のホームページ上に公開している。

また、成績の分布状況の把握については、前期末、学年末の各期において成績順位を算定し、担任、専攻科委員会（専攻部会）及び各学科で確認している。また、学生には成績表を配付し、中間時点での成績及び最終成績について確認できるようにしている。

なお、両キャンパスの指標については、以下のとおりです。

【熊本キャンパス・八代キャンパス共通】

成績評価の順位については、次の算定式によるGPAポイントで決定する。

算定式：{(S評価科目の単位数×4点) + (A評価科目の単位数×3点) + (B評価科目の単位数×2点) + (C評価科目の単位数×1点)} ÷ (履修科目の合計単位数)

客観的な指標の算出方法の公表方法	本科の学生便覧及び専攻科の学生便覧掲載し、本校のHP上で公表。 https://kumamoto-nct.ac.jp/shien/handbook.html なお、該当ページは以下のとおり。 【本科】 熊本キャンパス：P. 63（熊本キャンパス学生便覧） 八代キャンパス：P. 42（八代キャンパス学生便覧） 【専攻科】 熊本キャンパス：P. 17（熊本キャンパス専攻科学生便覧） 八代キャンパス：P. 23（八代キャンパス専攻科学生便覧）
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

<本科>

卒業の認定については、「熊本高等専門学校学業成績評価並びに進級及び卒業の認定等に関する規則」に規定しており、キャンパス（熊本キャンパス及び八代キャンパス）ごとに学生便覧に掲載し、本校のホームページ上に公開している。

また、上記規則に基づく認定の実施に関しては、各キャンパスの規定に基づき厳格に実施している。

<専攻科>

修了の認定については、「熊本高等専門学校専攻科電子情報システム工学専攻における授業科目の履修方法等に関する規則」及び「熊本高等専門学校専攻科生産システム工学専攻の授業科目の履修等に関する規則」の中で規定しており、キャンパス（熊本キャンパス及び八代キャンパス）ごとに専攻科学生便覧に掲載し、本校のホームページ上に公開している。

また、上記規則に基づく認定の実施に関しては、各キャンパスの規定に基づき厳格に実施している。

卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>本科の学生便覧及び専攻科の学生便覧に掲載し、本校のHP上で公表。 https://kumamoto-nct.ac.jp/shien/handbook.html</p> <p>ディプロマポリシーは以下に掲載。 <情報通信エレクトロニクス工学科> https://kumamoto-nct.ac.jp/general/subject/sub_elec/threepolicies.html <制御情報システム工学科> https://kumamoto-nct.ac.jp/general/subject/sub_control/threepolicies.html <人間情報システム工学科> https://kumamoto-nct.ac.jp/general/subject/sub_human/threepolicies.html <機械知能システム工学科> https://kumamoto-nct.ac.jp/general/subject/sub_machine/threepolicies.html <建築社会デザイン工学科> https://kumamoto-nct.ac.jp/general/subject/sub_design/threepolicies.html <生物化学システム工学科> https://kumamoto-nct.ac.jp/general/subject/sub_biological/threepolicies.html <専攻科電子情報システム工学専攻> https://kumamoto-nct.ac.jp/general/subject/sub_advance/adv_e/threepolicies.html <専攻科生産システム工学専攻> https://kumamoto-nct.ac.jp/general/subject/sub_advance/adv_p/threepolicies.html</p>
------------------	---

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	独立行政法人国立高等専門学校機構 熊本高等専門学校
設置者名	独立行政法人国立高等専門学校機構

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/documents/zaimusyohyoH30.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/documents/zaimusyohyoH30.pdf
財産目録	
事業報告書	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/H30jigyohokokusho1.pdf
監事による監査報告(書)	https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/kanjiikenH30.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:独立行政法人国立高等専門学校機構の年度計画 対象年度:令和2年度)
公表方法: https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/nendo-R2.pdf
中長期計画(名称:独立行政法人国立高等専門学校機構の中期計画 対象年度:平成31年(2019年)4月1日から令和6年(2024年)3月31日まで)
公表方法: https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/resources/information/chuukikeikaku-4th.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:本校のHP上に公表 https://kumamoto-nct.ac.jp/general/openinfo/jikohyoka.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名：情報通信エレクトロニクス工学科																											
教育研究上の目的（公表方法：本校のHP上に公表 https://kumamoto-nct.ac.jp/general/subject/sub_elec/threepolicies.html ）																											
<p>（概要）</p> <p>情報通信エレクトロニクス工学科は、情報通信とエレクトロニクスの専門技術とともに両者を融合した技術を身に付け、情報通信とエレクトロニクスに対する高度化、多様化したニーズに応えられる技術者の育成を目的とする。</p>																											
卒業の認定に関する方針（公表方法：本校のHP上に公表 https://kumamoto-nct.ac.jp/general/subject/sub_elec/threepolicies.html ）																											
<p>（概要）</p> <p>情報通信エレクトロニクス工学科では、育成する人材像（準学士課程）および学科の教育上の目的に基づき、以下のような能力を身につけ、かつ所定の授業を履修して卒業に必要な単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。</p> <p>(D1) 日本語および英語のコミュニケーション能力 (D2) ICTに関する基本的技術および工学への応用技術 (D3) 情報通信工学およびエレクトロニクス分野における技術の基礎となる知識と技能およびその分野の専門技術に関する知識と能力を持ち、複眼的な視点から問題を解決する能力 (D4) 知徳体の調和した人間性および社会性・協調性 (D5) 広い視野と技術のあり方に対する倫理観 (D6) 知的探求心を持ち、主体的、創造的に問題に取り組むことができる能力</p>																											
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本校のHP上に公表 https://kumamoto-nct.ac.jp/general/subject/sub_elec/threepolicies.html ）																											
<p>（概要）</p> <p>(1) ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を育成するために、以下の科目群を基本科目として用意している。</p> <p>①人文・社会系科目(D1、D4に対応) ② ICT系科目(D2に対応) ③工学の基礎および情報通信エレクトロニクス工学専門科目(D3に対応) ④技術者倫理科目(D5に対応) ⑥問題解決能力育成科目(D6に対応)</p> <p>(2) これらの科目群に係る単位修得の認定は、主に定期試験によるものとするが、科目によってはレポート等の評価結果により認定する。授業科目の成績は、下記の基準により評価する。</p>																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評点</th> <th>標語</th> <th>判定</th> <th>標語の意味</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90点～100点</td> <td>S</td> <td>合格</td> <td>極めて優秀</td> </tr> <tr> <td>80点～89点</td> <td>A</td> <td>合格</td> <td>優秀</td> </tr> <tr> <td>70点～79点</td> <td>B</td> <td>合格</td> <td>良好</td> </tr> <tr> <td>60点～69点</td> <td>C</td> <td>合格</td> <td>合格に値する</td> </tr> <tr> <td>0点～59点</td> <td>F</td> <td>不合格</td> <td>合格に及ばず</td> </tr> </tbody> </table>				評点	標語	判定	標語の意味	90点～100点	S	合格	極めて優秀	80点～89点	A	合格	優秀	70点～79点	B	合格	良好	60点～69点	C	合格	合格に値する	0点～59点	F	不合格	合格に及ばず
評点	標語	判定	標語の意味																								
90点～100点	S	合格	極めて優秀																								
80点～89点	A	合格	優秀																								
70点～79点	B	合格	良好																								
60点～69点	C	合格	合格に値する																								
0点～59点	F	不合格	合格に及ばず																								

<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：本校のHP上に公表 https://kumamoto-nct.ac.jp/entrance/exam/honka-exam.html#adm-policy ）</p>
<p>（概要）</p> <p>【求める学生像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学や技術に関心を持ち、新しいものの創造に興味を持っている人 ・科学技術を学ぶのに必要な基礎学力を持っている人 ・コミュニケーションの基礎が備わっている人 ・社会への貢献意識を持っている人 <p>【入学者選抜の基本方針】</p> <p>入学者の選抜は、推薦選抜・学力選抜及び帰国子女特別選抜の三つの方法で行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推薦選抜 在籍する学校長が人物・学業ともに優れていると認めて推薦する人で、本学への適性を有し、合格した場合は必ず入学する人を選抜します。 ・学力選抜 数学及び理科の科目に重点をおき、本学での勉学に必要な素養と基礎学力を備えた人を選抜します。 ・帰国子女特別選抜 日本国籍を有する人及び日本国の永住許可を得ている人で、保護者の海外勤務に伴って外国において教育を受けた人が対象です。（海外在住期間が中学校に相当する課程において通算して2年以上の人で、平成31年4月以降の帰国者）

<p>学部等名：制御情報システム工学科</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：本校のHP上に公表 https://kumamoto-nct.ac.jp/general/subject/sub_control/threepolicies.html ）</p>
<p>（概要）</p> <p>制御情報システム工学科は、電気・電子工学、情報工学、計算機工学および計測・制御工学の基礎技術を身に付け、これを基盤として制御と情報の関連技術を融合し、ソフトウェアとハードウェアを統合した制御情報システムを実現できる技術者の育成を目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：本校のHP上に公表 https://kumamoto-nct.ac.jp/general/subject/sub_control/threepolicies.html ）</p>
<p>（概要）</p> <p>制御情報システム工学科では、育成する人材像（準学士課程）および学科の教育上の目的に基づき、以下の能力を身につけ、かつ所定の授業を履修して卒業に必要な単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。</p> <p>(D1) 日本語および英語のコミュニケーション能力</p> <p>(D2) ICTに関する基本的技術および工学への応用技術</p> <p>(D3) 電気・電子工学、情報工学、計算機工学および計測・制御工学の各分野における技術の基礎となる知識と技能およびその分野の専門技術に関する知識と能力を持ち、複眼的な視点から問題を解決する能力</p> <p>(D4) 知徳体の調和した人間性および社会性・協調性</p> <p>(D5) 広い視野と技術のあり方に対する倫理観</p> <p>(D6) 知的探求心を持ち、主体的、創造的に問題に取り組むことができる能力</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本校のHP上に公表 https://kumamoto-nct.ac.jp/general/subject/sub_control/threepolicies.html ）</p>

(概要)

(1) ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を育成するために、以下の科目群を基本科目として用意している。

- ①人文・社会系科目(D1、D4 に対応)
- ② ICT 系科目(D2 に対応)
- ③工学の基礎および制御情報システム工学専門科目(D3 に対応)
- ④技術者倫理科目(D5 に対応)
- ⑥問題解決能力育成科目(D6 に対応)

(2) これらの科目群に係る単位修得の認定は、主に定期試験によるものとするが、科目によってはレポート等の評価結果により認定する。授業科目の成績は、下記の基準により評価する。

評点	標語	判定	標語の意味
90 点～100 点	S	合格	極めて優秀
80 点～89 点	A	合格	優秀
70 点～79 点	B	合格	良好
60 点～69 点	C	合格	合格に値する
0 点～59 点	F	不合格	合格に及ばず

入学者の受入れに関する方針（公表方法：本校のHP上に公表

<https://kumamoto-nct.ac.jp/entrance/exam/honka-exam.html#adm-policy>)

(概要)

【求める学生像】

- ・科学や技術に関心を持ち、新しいものの創造に興味を持っている人
- ・科学技術を学ぶのに必要な基礎学力を持っている人
- ・コミュニケーションの基礎が備わっている人
- ・社会への貢献意識を持っている人

【入学選抜の基本方針】

入学者の選抜は、推薦選抜・学力選抜及び帰国子女特別選抜の三つの方法で行う。

・推薦選抜

在籍する学校長が人物・学業ともに優れていると認めて推薦する人で、本学への適性を有し、合格した場合は必ず入学する人を選抜します。

・学力選抜

数学及び理科の科目に重点をおき、本学での勉学に必要な素養と基礎学力を備えた人を選抜します。

・帰国子女特別選抜

日本国籍を有する人及び日本国の永住許可を得ている人で、保護者の海外勤務に伴って外国において教育を受けた人が対象です。(海外在住期間が中学校に相当する課程において通算して2年以上の人で、平成31年4月以降の帰国者)

学部等名：人間情報システム工学科

教育研究上の目的（公表方法：本校のHP上に公表

https://kumamoto-nct.ac.jp/general/subject/sub_human/threepolicies.html)

(概要)

人間情報システム工学科は、ソフトウェア・エレクトロニクス・ヒューマンウェアの技術を加味した情報工学を基本に、人の生活に役立つ情報システムづくりの基礎を身に付け、社会のニーズに応えられる感性豊かな技術者の育成を目的とする。

卒業の認定に関する方針（公表方法：本校のHP上に公表
https://kumamoto-nct.ac.jp/general/subject/sub_human/threepolicies.html）

（概要）

人間情報システム工学科では、育成する人材像（準学士課程）および学科の教育上の目的に基づき、以下の能力を身につけ、かつ所定の授業を履修して卒業に必要な単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。

- (D1) 日本語および英語のコミュニケーション能力
- (D2) ICTに関する基本的技術および工学への応用技術
- (D3) ソフトウェア・エレクトロニクス・ヒューマンウェアの基礎となる数学・自然科学の基礎知識と技能および人間情報システム工学における多様な専門分野の技術に関する知識と能力を持ち、複眼的な視点から問題を解決する能力
- (D4) 知徳体の調和した人間性および社会性・協調性
- (D5) 広い視野と技術のあり方に対する倫理観
- (D6) 知的探求心を持ち、主体的、創造的に問題に取り組むことができる能力

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本校のHP上に公表
https://kumamoto-nct.ac.jp/general/subject/sub_human/threepolicies.html）

（概要）

(1) ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を育成するために、以下の科目群を基本科目として用意している。

- ① 人文・社会系科目(D1、D4 に対応)
- ② ICT系科目(D2 に対応)
- ③ 工学の基礎および人間情報システム工学専門科目(D3 に対応)
- ④ 技術者倫理科目(D5 に対応)
- ⑥ 問題解決能力育成科目(D6 に対応)

(2) これらの科目群に係る単位修得の認定は、主に定期試験によるものとするが、科目によってはレポート等の評価結果により認定する。授業科目の成績は、下記の基準により評価する。

評点	標語	判定	標語の意味
90点～100点	S	合格	極めて優秀
80点～89点	A	合格	優秀
70点～79点	B	合格	良好
60点～69点	C	合格	合格に値する
0点～59点	F	不合格	合格に及ばず

入学者の受入れに関する方針（公表方法：本校のHP上に公表
<https://kumamoto-nct.ac.jp/entrance/exam/honka-exam.html#adm-policy>）

<p>(概要)</p> <p>【求める学生像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 科学や技術に関心を持ち、新しいものの創造に興味を持っている人 ・ 科学技術を学ぶのに必要な基礎学力を持っている人 ・ コミュニケーションの基礎が備わっている人 ・ 社会への貢献意識を持っている人 <p>【入学者選抜の基本方針】</p> <p>入学者の選抜は、推薦選抜・学力選抜及び帰国子女特別選抜の三つの方法で行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 推薦選抜 在籍する学校長が人物・学業ともに優れていると認めて推薦する人で、本学への適性を有し、合格した場合は必ず入学する人を選抜します。 ・ 学力選抜 数学及び理科の科目に重点をおき、本学での勉学に必要な素養と基礎学力を備えた人を選抜します。 ・ 帰国子女特別選抜 日本国籍を有する人及び日本国の永住許可を得ている人で、保護者の海外勤務に伴って外国において教育を受けた人が対象です。(海外在住期間が中学校に相当する課程において通算して2年以上の人で、平成31年4月以降の帰国者)

<p>学部等名：機械知能システム工学科</p> <p>教育研究上の目的（公表方法：本校のHP上に公表 https://kumamoto-nct.ac.jp/general/subject/sub_machine/threepolicies.html ）</p>
<p>(概要)</p> <p>機械知能システム工学科は、「機械工学」を基本として、「電気・電子・制御・情報・通信システム」等の幅広い技術分野にも対応しながら、様々な生産活動の場において総合エンジニアとして「モノづくり」に貢献できる技術者の育成を目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：本校のHP上に公表 https://kumamoto-nct.ac.jp/general/subject/sub_machine/threepolicies.html ）</p> <p>(概要)</p> <p>機械知能システム工学科では、育成する人材像（準学士課程）および学科の教育上の目的に基づき、以下のような能力を身につけ、かつ所定の授業を履修して卒業に必要な単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。</p> <p>(D1) 日本語および英語のコミュニケーション能力 (D2) ICTに関する基本的技術および工学への応用技術 (D3) 機械および電気電子分野における技術の基礎となる知識と技能およびその分野の専門技術に関する知識と能力を持ち、複眼的な視点から問題を解決する能力 (D4) 知徳体の調和した人間性および社会性・協調性 (D5) 広い視野と技術のあり方に対する倫理観 (D6) 知的探求心を持ち、主体的、創造的に問題に取り組むことができる能力</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本校のHP上に公表 https://kumamoto-nct.ac.jp/general/subject/sub_machine/threepolicies.html ）</p>

(概要)

(1) ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を育成するために、以下の科目群を基本科目として用意している。

- ①人文・社会系科目(D1、D4 に対応)
- ②ICT 系科目(D2 に対応)
- ③一般科目理数系及び機械工学・電気電子工学の基礎科目 (D3 に対応)
- ④機械工学・電気電子工学の応用・実践科目 (D3 に対応)
- ⑤問題解決能力育成科目 (D5、D6 に対応)

(2) これらの科目群に係る単位修得の認定は、主に定期試験によるものとするが、科目によってはレポート等の評価結果により認定する。授業科目の成績は、下記の基準により評価する。

評点	標語	判定	標語の意味
90 点～100 点	S	合格	極めて優秀
80 点～89 点	A	合格	優秀
70 点～79 点	B	合格	良好
60 点～69 点	C	合格	合格に値する
0 点～59 点	F	不合格	合格に及ばず

入学者の受入れに関する方針（公表方法：本校のHP上に公表

<https://kumamoto-nct.ac.jp/entrance/exam/honka-exam.html#adm-policy>)

(概要)

【求める学生像】

- ・科学や技術に関心を持ち、新しいものの創造に興味を持っている人
- ・科学技術を学ぶのに必要な基礎学力を持っている人
- ・コミュニケーションの基礎が備わっている人
- ・社会への貢献意識を持っている人

【入学者選抜の基本方針】

入学者の選抜は、推薦選抜・学力選抜及び帰国子女特別選抜の三つの方法で行う。

・推薦選抜

在籍する学校長が人物・学業ともに優れていると認めて推薦する人で、本学への適性を有し、合格した場合は必ず入学する人を選抜します。

・学力選抜

数学及び理科の科目に重点をおき、本学での勉学に必要な素養と基礎学力を備えた人を選抜します。

・帰国子女特別選抜

日本国籍を有する人及び日本国の永住許可を得ている人で、保護者の海外勤務に伴って外国において教育を受けた人が対象です。(海外在住期間が中学校に相当する課程において通算して2年以上の人で、平成31年4月以降の帰国者)

学部等名：建築社会デザイン工学科

教育研究上の目的（公表方法：本校のHP上に公表

https://kumamoto-nct.ac.jp/general/subject/sub_design/threepolicies.html)

<p>(概要)</p> <p>建築社会デザイン工学科は、建築学と土木工学の専門基礎技術に情報通信技術を加えて、地域の文化や歴史、自然環境や防災などに配慮しながら、建物、社会資本の整備や都市計画などの「地域づくり・まちづくり」に貢献できる技術者の育成を目的とする。</p>																								
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：本校のHP上に公表 https://kumamoto-nct.ac.jp/general/subject/sub_design/threepolicies.html）</p>																								
<p>(概要)</p> <p>建築社会デザイン工学科では、育成する人材像（準学士課程）および学科の教育上の目的に基づき、以下の能力を身につけ、かつ所定の授業を履修して卒業に必要な単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。</p> <p>(D1) 日本語および英語のコミュニケーション能力 (D2) ICTに関する基本的技術および工学への応用技術 (D3) 建築および土木分野における技術の基礎となる知識と技能およびその分野の専門技術に関する知識と能力を持ち、複眼的な視点から問題を解決する能力 (D4) 知徳体の調和した人間性および社会性・協調性 (D5) 広い視野と技術のあり方に対する倫理観 (D6) 知的探求心を持ち、主体的、創造的に問題に取り組むことができる能力</p>																								
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本校のHP上に公表 https://kumamoto-nct.ac.jp/general/subject/sub_design/threepolicies.html）</p>																								
<p>(概要)</p> <p>(1) ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を育成するために、以下の科目群を基本科目として用意している。</p> <p>①一般科目人文・社会系科目（D1、D4に対応） ②ICT系科目（D2に対応） ③一般科目理数系及び建築学・土木工学の基礎科目（D3に対応） ④建築学・土木工学の応用・実践科目（D3に対応） ⑤問題解決能力育成科目（D5、D6に対応）</p> <p>(2) これらの科目群に係る単位修得の認定は、主に定期試験によるものとするが、科目によってはレポート等の評価結果により認定する。授業科目の成績は、下記の基準により評価する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評点</th> <th>標語</th> <th>判定</th> <th>標語の意味</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90点～100点</td> <td>S</td> <td>合格</td> <td>極めて優秀</td> </tr> <tr> <td>80点～89点</td> <td>A</td> <td>合格</td> <td>優秀</td> </tr> <tr> <td>70点～79点</td> <td>B</td> <td>合格</td> <td>良好</td> </tr> <tr> <td>60点～69点</td> <td>C</td> <td>合格</td> <td>合格に値する</td> </tr> <tr> <td>0点～59点</td> <td>F</td> <td>不合格</td> <td>合格に及ばず</td> </tr> </tbody> </table>	評点	標語	判定	標語の意味	90点～100点	S	合格	極めて優秀	80点～89点	A	合格	優秀	70点～79点	B	合格	良好	60点～69点	C	合格	合格に値する	0点～59点	F	不合格	合格に及ばず
評点	標語	判定	標語の意味																					
90点～100点	S	合格	極めて優秀																					
80点～89点	A	合格	優秀																					
70点～79点	B	合格	良好																					
60点～69点	C	合格	合格に値する																					
0点～59点	F	不合格	合格に及ばず																					
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：本校のHP上に公表 https://kumamoto-nct.ac.jp/entrance/exam/honka-exam.html#adm-policy）</p>																								

<p>(概要)</p> <p>【求める学生像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学や技術に関心を持ち、新しいものの創造に興味を持っている人 ・科学技術を学ぶのに必要な基礎学力を持っている人 ・コミュニケーションの基礎が備わっている人 ・社会への貢献意識を持っている人 <p>【入学者選抜の基本方針】</p> <p>入学者の選抜は、推薦選抜・学力選抜及び帰国子女特別選抜の三つの方法で行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推薦選抜 在籍する学校長が人物・学業ともに優れていると認めて推薦する人で、本学への適性を有し、合格した場合は必ず入学する人を選抜します。 ・学力選抜 数学及び理科の科目に重点をおき、本学での勉学に必要な素養と基礎学力を備えた人を選抜します。 ・帰国子女特別選抜 日本国籍を有する人及び日本国の永住許可を得ている人で、保護者の海外勤務に伴って外国において教育を受けた人が対象です。(海外在住期間が中学校に相当する課程において通算して2年以上の人で、平成31年4月以降の帰国者)
--

<p>学部等名：生物化学システム工学科</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：本校のHP上に公表 https://kumamoto-nct.ac.jp/general/subject/sub_biological/threepolicies.html)</p>
<p>(概要)</p> <p>生物化学システム工学科は、生物科学と化学の専門基礎技術に情報電子技術を加え、生物の持つ様々な機能を工学的に応用するバイオ技術を駆使して、医薬医療・食品・化学等の産業分野で展開されている「先進的で高度なモノづくり」に貢献できる実践的バイオ・ケミカル技術者の育成を目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：本校のHP上に公表 https://kumamoto-nct.ac.jp/general/subject/sub_biological/threepolicies.html）</p>
<p>(概要)</p> <p>生物化学システム工学科では、育成する人材像（準学士課程）および学科の教育上の目的に基づき、以下の能力を身につけ、かつ所定の授業を履修して卒業に必要な単位を修得した学生に対して、卒業を認定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> (D1) 日本語および英語のコミュニケーション能力 (D2) ICTに関する基本的技術および工学への応用技術 (D3) 生物科学及び化学における技術の基礎となる知識と技能およびその分野の専門技術に関する知識と能力、複眼的な視点から問題を解決する能力 (D4) 知徳体の調和した人間性および社会性・協調性 (D5) 広い視野と技術のあり方に対する倫理観 (D6) 知的探求心を持ち、主体的、創造的に問題に取り組むことができる能力
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本校のHP上に公表 https://kumamoto-nct.ac.jp/general/subject/sub_biological/threepolicies.html）</p>

(概要)

(1) ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を育成するために、以下の科目群を基本科目として用意している。

- ①一般科目人文・社会系科目 (D1、D4 に対応)
- ②ICT系科目(D2 に対応)
- ③一般科目理数系及び生物科学・化学の基礎科目 (D3 に対応)
- ④生物科学・化学の応用・実践科目 (D3 に対応)
- ⑤問題解決能力育成科目 (D5、D6 に対応)

(2) これらの科目群に係る単位修得の認定は、主に定期試験によるものとするが、科目によってはレポート等の評価結果により認定する。授業科目の成績は、下記の基準により評価する。

評点	標語	判定	標語の意味
90点～100点	S	合格	極めて優秀
80点～89点	A	合格	優秀
70点～79点	B	合格	良好
60点～69点	C	合格	合格に値する
0点～59点	F	不合格	合格に及ばず

入学者の受入れに関する方針 (公表方法: 本校のHP上に公表

<https://kumamoto-nct.ac.jp/entrance/exam/honka-exam.html#adm-policy>)

(概要)

【求める学生像】

- ・科学や技術に関心を持ち、新しいものの創造に興味を持っている人
- ・科学技術を学ぶのに必要な基礎学力を持っている人
- ・コミュニケーションの基礎が備わっている人
- ・社会への貢献意識を持っている人

【入学者選抜の基本方針】

入学者の選抜は、推薦選抜・学力選抜及び帰国子女特別選抜の三つの方法で行う。

・推薦選抜

在籍する学校長が人物・学業ともに優れていると認めて推薦する人で、本学への適性を有し、合格した場合は必ず入学する人を選抜します。

・学力選抜

数学及び理科の科目に重点をおき、本学での勉学に必要な素養と基礎学力を備えた人を選抜します。

・帰国子女特別選抜

日本国籍を有する人及び日本国の永住許可を得ている人で、保護者の海外勤務に伴って外国において教育を受けた人が対象です。(海外在住期間が中学校に相当する課程において通算して2年以上の人で、平成31年4月以降の帰国者)

学部等名: 専攻科電子情報システム工学専攻

教育研究上の目的 (公表方法: 本校のHP上に公表

https://kumamoto-nct.ac.jp/general/subject/sub_advance.html)

(概要)

電子情報システム工学専攻は、電子情報技術および応用技術の高度化・グローバル化に対応して、電子情報系の専門知識・技術とコミュニケーション力を身に付け、複合領域にも対応できる幅広い視野と柔軟な創造力を備え、かつ健全な精神を持った広く産業の発展に貢献し国際的にも活躍できる技術者の育成を目的とする。

卒業の認定に関する方針（公表方法：本校のHP上に公表

<https://kumamoto->

[nct.ac.jp/general/subject/sub_advance/adv_e/threepolicies.html](https://kumamoto-nct.ac.jp/general/subject/sub_advance/adv_e/threepolicies.html))

(概要)

電子情報システム工学専攻は、電子情報技術および応用技術の高度化・グローバル化に対応して、電子情報系の専門知識・技術とコミュニケーション力を身に付け、複合領域にも対応できる幅広い視野と柔軟な創造力を備え、かつ健全な精神を持った広く産業の発展に貢献し国際的にも活躍できる技術者を育成するために、本校に在籍し、以下のような能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、修了を認定する。

(D1) 日本語および英語のコミュニケーション能力を有し、国際的に活躍できる能力

(D2) ICTに関する基本的技術および工学への応用技術

(D3) 多分野における技術の基礎となる知識と技能、およびその分野の専門技術に関する高度な知識と能力を持ち、複眼的な視点から問題を解決し、産業技術分野への活用を実践できる能力

(D4) 知徳体の調和した人間性および社会性・協調性

(D5) 広い視野と技術のあり方に対する倫理観と、社会への貢献意識

(D6) 知的探求心を持ち、問題解決へ向けて主体的、創造的に取り組むことができる能力

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本校のHP上に公表

<https://kumamoto->

[nct.ac.jp/general/subject/sub_advance/adv_e/threepolicies.html](https://kumamoto-nct.ac.jp/general/subject/sub_advance/adv_e/threepolicies.html))

(概要)

(1) ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を育成するために、以下の科目群を基本科目として用意している。

①総合基盤科目 (D3、4、5、6に対応)

②コミュニケーション系科目(D1に対応)

③実験研究系科目 (D1、3、6に対応)

④専門基盤系科目 (D2、3に対応)

⑤専門応用系科目 (D2、3に対応)

⑥共同教育系科目 (D3、6に対応)

(2) これらの科目群に係る単位修得の認定は、主に定期試験によるものとするが、科目によってはレポート等の評価結果により認定する。授業科目の成績は、下記の基準により評価する。

評点	標語	判定	標語の意味
90点～100点	S	合格	極めて優秀
80点～89点	A	合格	優秀
70点～79点	B	合格	良好
60点～69点	C	合格	合格に値する
0点～59点	F	不合格	合格に及ばず

入学者の受入れに関する方針（公表方法：本校のHP上に公表

<https://kumamoto-nct.ac.jp/entrance/exam/senkouka-exam.html#adm-policy>)

(概要)

【求める学生像】

- ・技術の向上や新しいものの創造に対する意欲を持っている人
- ・科学技術の基礎知識および専門分野の基礎的な知識と技術を持っている人
- ・日本語および英語の基本的コミュニケーション能力が備わっている人
- ・社会への貢献意識を持っている人

【入学者選抜の基本方針】

入学者の選抜は、「推薦による選抜」、「学力検査による選抜」及び「社会人特別選抜」の三つの方法で行います。

- ・推薦による選抜
在籍する学校長が人物・学業ともに優れていると認めて推薦する人で、本専攻科への適性を有し、合格した場合は必ず入学する人を選抜します。
- ・学力検査による選抜
本専攻科での勉学に必要な素養と基礎学力及び専門基礎知識を備えた人を選抜します。
- ・社会人特別選抜
企業等での1年以上の実務経験があつて、専門分野における基礎的な学力と知識を持ち、本専攻科での学習の意欲があり人物的にも優れていると所属の長が推薦する人で、本専攻科への適性を有し、合格した場合は必ず入学する人を選抜します。

選抜方法	試験内容および判定方法
推薦選抜	推薦選抜は、在籍する学校長から提出された推薦書及び調査書と面接の総合判定により行います。
学力選抜	学力選抜は、学力検査の成績及び出身学校長より提出された調査書の総合判定により行います。学力検査は筆記試験で、英語、数学及び専門科目です。
社会人特別選抜	社会人特別選抜は、所属の長から提出された推薦書、調査書及び志望理由書と面接の総合判定により行います。

学部等名：専攻科生産システム工学専攻

教育研究上の目的（公表方法：本校のHP上に公表

https://kumamoto-nct.ac.jp/general/subject/sub_advance.html)

(概要)

生産システム工学専攻は、準学士課程における機械知能系・建築社会デザイン系・生物化学系の何れかの複合型専門を基礎として、モノづくりの基礎をデザインしこれを展開して、国際的な視点に立ったイノベーション創成を担うことのできる高度な開発技術者および地域産業の発展に貢献できる技術者の育成を目的とする。

卒業の認定に関する方針（公表方法：本校のHP上に公表

https://kumamoto-nct.ac.jp/general/subject/sub_advance/adv_p/threepolicies.html)

(概要)

進学士課程における機械知能系・建築社会デザイン系・生物化学系の何れかの複合型専門を基礎として、モノづくりの基礎をデザインしこれを展開して、国際的な視点に立ったイノベーション創成を担うことのできる高度な開発技術者及び地域産業の発展に貢献できる技術者を育成するため、本校に在籍し、以下のような能力を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して、修了を認定する。

- (D1) 日本語および英語のコミュニケーション能力を有し、国際的に活躍できる能力
- (D2) ICTに関する基本的技術および工学への応用技術
- (D3) 多分野における技術の基礎となる知識と技能、およびその分野の専門技術に関する高度な知識と能力を持ち、複眼的な視点から問題を解決し、産業技術分野への活用を実践できる能力
- (D4) 知徳体の調和した人間性および社会性・協調性
- (D5) 広い視野と技術のあり方に対する倫理観と、社会への貢献意識
- (D6) 知的探求心を持ち、問題解決へ向けて主体的、創造的に取り組むことができる能力

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本校のHP上に公表
https://kumamoto-nct.ac.jp/general/subject/sub_advance/adv_p/threepolicies.html）

(概要)

(1) ディプロマ・ポリシーに掲げた能力を育成するために、以下の科目群を基本科目として用意している。

- ①人文・社会科学（語学も含む）に関する科目（D1、D4に対応）
- ②情報技術科目（D2に対応）
- ③数学・自然科学に関する科目（D3に対応）
- ④基礎工学科目（D3に対応）
- ⑤専門工学の知識と能力科目（D3に対応）
- ⑥いくつかの工学の基礎的な知識・技術を駆使し、工学的に考察し、かつ説明・説得する能力、デザイン能力育成科目（D2、D3、D6に対応）
- ⑦工学の基礎的な知識・技術を統合し、創造性を発揮して課題を探求し、組み立て、解決する能力育成科目（D6に対応）
- ⑧技術者が経験する実務上の問題点と課題を理解し、適切に対応する基礎的な能力育成科目（D5に対応）
- ⑨チームワーク力育成科目（D4に対応）

(2) これらの科目群に係る単位修得の認定は主に定期試験によるものとするが、科目によっては、レポート、研究論文、プレゼンテーション、口頭試問等の評価やいくつかの評価方法を組み合わせた複式評価の結果により認定する。授業科目の成績は、下記の基準により評価する。

評点	標語	判定	標語の意味
90点～100点	S	合格	極めて優秀
80点～89点	A	合格	優秀
70点～79点	B	合格	良好
60点～69点	C	合格	合格に値する
0点～59点	F	不合格	合格に及ばず

入学者の受入れに関する方針（公表方法：本校のHP上に公表
<https://kumamoto-nct.ac.jp/entrance/exam/senkouka-exam.html#adm-policy>）

(概要)

【求める学生像】

- ・技術の向上や新しいものの創造に対する意欲を持っている人
- ・科学技術の基礎知識および専門分野の基礎的な知識と技術を持っている人
- ・日本語および英語の基本的コミュニケーション能力が備わっている人
- ・社会への貢献意識を持っている人

【入学者選抜の基本方針】

入学者の選抜は、「推薦による選抜」、「学力検査による選抜」及び「社会人特別選抜」の三つの方法で行います。

- ・推薦による選抜
在籍する学校長が人物・学業ともに優れていると認めて推薦する人で、本専攻科への適性を有し、合格した場合は必ず入学する人を選抜します。
- ・学力検査による選抜
本専攻科での勉学に必要な素養と基礎学力及び専門基礎知識を備えた人を選抜します。
- ・社会人特別選抜
企業等での1年以上の実務経験があつて、専門分野における基礎的な学力と知識を持ち、本専攻科での学習の意欲があり人物的にも優れていると所属の長が推薦する人で、本専攻科への適性を有し、合格した場合は必ず入学する人を選抜します。

選抜方法	試験内容および判定方法
推薦選抜	推薦選抜は、在籍する学校長から提出された推薦書及び調査書と面接の総合判定により行います。
学力選抜	学力選抜は、学力検査の成績及び出身学校長より提出された調査書の総合判定により行います。学力検査は筆記試験で、英語、数学及び専門科目です。
社会人特別選抜	社会人特別選抜は、所属の長から提出された推薦書、調査書及び志望理由書と面接の総合判定により行います。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：本校のHP上に公表

<https://kumamoto-nct.ac.jp/general/school/organization.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
共通教育科	—	15人	16人	3人	1人	0人	35人
情報通信エレクトロニクス工学科	—	6人	6人	0人	1人	0人	13人
制御情報システム工学科	—	5人	5人	1人	1人	0人	12人
人間情報システム工学科	—	8人	5人	0人	0人	0人	13人
機械知能システム工学科	—	7人	2人	1人	1人	0人	11人
建築社会デザイン工学科	—	4人	5人	0人	4人	0人	13人
生物化学システム工学科	—	3人	6人	3人	0人	0人	12人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		28人					28人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：本校のHP上に公表 https://kumamoto-nct.ac.jp/general/subject.html					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
情報通信エレクトロニクス工学科	40人	42人	105.0%	200人	215人	107.5%	若干名	1人
制御情報システム工学科	40人	43人	107.5%	200人	211人	105.5%		1人
人間情報システム工学科	40人	42人	105.0%	200人	215人	107.5%		2人
機械知能システム工学科	40人	44人	110.0%	200人	220人	110.0%		2人
建築社会デザイン工学科	40人	43人	107.5%	200人	214人	107.0%		0人
生物化学システム工学科	40人	43人	107.5%	200人	205人	102.5%		1人
合計	240人	257人	107.1%	1200人	1280人	106.7%		7人
専攻科電子情報システム工学専攻	24人	31人	129.2%	48人	69人	143.8%	0人	0人
専攻科生産システム工学専攻	24人	26人	108.3%	48人	62人	129.2%	0人	0人
合計	48人	57人	118.8%	96人	131人	136.5%	0人	0人

(備考)

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
情報通信エレクトロニクス工学科	43人 (100%)	19人 (44.2%)	24人 (55.8%)	0人 (0%)
制御情報システム工学科	45人 (100%)	15人 (33.3%)	27人 (60%)	3人 (6.7%)
人間情報システム工学科	43人 (100%)	17人 (39.5%)	24人 (55.8%)	2人 (4.7%)
機械知能システム工学科	40人 (100%)	18人 (45.0%)	19人 (47.5%)	3人 (7.5%)
建築社会デザイン工学科	37人 (100%)	14人 (37.8%)	23人 (62.1%)	0人 (0%)
生物化学システム工学科	35人 (100%)	8人 (22.9%)	27人 (77.1%)	0人 (0%)
専攻科電子情報システム工学専攻	29人 (100%)	9人 (31.0%)	20人 (69%)	0人 (0%)
専攻科生産システム工学専攻	26人 (100%)	4人 (15.4%)	22人 (84.6%)	0人 (0%)
合計	298人 (100%)	104人 (34.9%)	186人 (62.4%)	8人 (2.7%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
 高専機構統一の Web シラバスを利用しており、シラバスには、授業科目、授業方法（講義、演習、実験、実習の別）、授業概要、年間スケジュールについて記載している。
 シラバスの作成については、教務委員会を通じて、前年度の 12 月の時期に、各科目担当教員に依頼している。なお、非常勤教員については、担当のホストプロフェッサー（サポート教員）を介して依頼している。
 各担当教員のシラバスが作成された段階で、シラバスの内容等の相互チェック、教務委員会による点検を実施している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
<p>本科の学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっての基準は、「熊本高等専門学校学業成績評価並びに進級及び卒業の認定等に関する規則」に規定している。また、専攻科においては、「熊本高等専門学校専攻科電子情報システム工学専攻における授業科目の履修等に関する規則」及び「熊本高等専門学校専攻科生産システム工学専攻における授業科目の履修等に関する規則」に規定している。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	情報通信エレクトロニクス工学科	167 単位	有・無	単位
	制御情報システム工学科	167 単位	有・無	単位
	人間情報システム工学科	167 単位	有・無	単位
	機械知能システム工学科	167 単位	有・無	単位
	建築社会デザイン工学科	167 単位	有・無	単位
	生物化学システム工学科	167 単位	有・無	単位
	専攻科電子情報システム工学専攻	62 単位	有・無	単位
	専攻科生産システム工学専攻	62 単位	有・無	単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

<p>公表方法：本校のHP上に公表 https://kumamoto-nct.ac.jp/general/school/facilities.html</p>
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	情報通信エレクトロニクス工学科	234,600円	84,600円	96,550～ 179,150円	制服代 約50,000円 スポーツ振興センター共済掛金 1,550円 教科書代 15,000円～46,000円 後援会費(入会金含) 23,000円 学生会費(入会金含) 6,200円 学生教育研究災害障害保険 4050円(入学時) 令和2年度は2年生以上も卒業までの修行年に応じた保険料 [以下, 寮生のみ] 寄宿料 8,400円～9,600円 寮費 36,000円(電気料別) 寮生会費 6,000円
	制御情報システム工学科	234,600円	84,600円	96,550～ 179,150円	
	人間情報システム工学科	234,600円	84,600円	96,550～ 179,150円	
	機械知能システム工学科	234,600円	84,600円	107,600～ 192,000円	制服代 約50,000円 スポーツ振興センター共済掛金 1,550円、 学研災保険料(5年分) 4,050円 教科書代 20,000～30,000円 後援会費(入会金含) 23,000円 学生会費(入会金含) 9,000円 [以下, 寮生のみ] 寄宿料 8,400～9,600円、 寮費 64,800円(寮生会費,電気等使用料込)
	建築社会デザイン工学科	234,600円	84,600円	107,600～ 192,000円	
	生物化学システム工学科	234,600円	84,600円	107,600～ 192,000円	
	専攻科電子情報システム工学専攻	234,600円	84,600円	36,350～ 113,950円	スポーツ振興センター共済掛金 1,550円 教科書代 14,000円～40,000円 後援会費 20,000円 学生教育研究災害障害保険 1750円(入学時)、令和2年度のみ2年生1000円 [以下, 寮生のみ] 寄宿料 8,400円～9,600円 寮費 36,000円(電気量別) 寮生会費 6,000円
	専攻科生産システム工学専攻	234,600円	84,600円	30,300～ 112,700円	スポーツ振興センター共済掛金 1,550円、 教科書代 7,000円～15,000円 後援会費 20,000円 学研災保険料(2年分) 1,750円 [以下, 寮生のみ] 寄宿料 8,400～9,600円、 寮費 64,800円(寮生会費,電気等使用料含)

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 学生の修学に係る支援については、以下のとおり取り扱っている。 奨学制度：日本学生支援機構による奨学金、奨学のための給付金 授業料免除：高等学校就学支援金(本科1～3年対象)、授業料免除(本科4・5年生、専攻科生)
b. 進路選択に係る支援に関する取組

<p>(概要)</p> <p>キャリア教育支援室を設置し、組織的、体系的なキャリア教育及び進路選択支援をおこなっている。キャリア教育については、HRなどを利用したキャリア教育、卒業生等による講演会、学外研修、企業等の協力によるキャリアセミナー等を実施している。また、進学・就職に係る進路選択に際しては、担任を中心とした所属学科による支援のほか、カウンセラー、等の外部人材を活用した支援体制を構築している。</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p>
<p>(概要)</p> <p>学生支援室を設置し、教職員及び外部カウンセラー等を室員として学生の心身の健康等に関する問題について対応する体制を構築している。また、スクール・ソーシャル・ワーカーと契約し、必要な場合に相談、支援を受けることができる体制をとっている。</p> <p>学生の心身の健康等に関する重要な問題が生じた場合には、学生支援連絡協議会（学生主事、教務主事、寮務主事、学生支援室長等）において検討、対応を図ることとしている。</p> <p>また、学生委員会を中心に心身の健康等に関する学生向け研修会を実施している。教職員向けの研修会等についても、学生委員会、学生支援室などの主催で実施し、学生支援に関する情報、知見の共有を図っている。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法：本校のHP上に公表</p> <p>https://kumamoto-nct.ac.jp/general/openinfo/disclosure.html</p>
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請の場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	
設置者名	

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		人	人	人
内 訳	第Ⅰ区分	人	人	
	第Ⅱ区分	人	人	
	第Ⅲ区分	人	人	
家計急変による支援対象者（年間）				人
合計（年間）				人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	人
----	---

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間が標準時間数の5割以下)	人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	人	人	人
計	人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	人
3月以上の停学	人
年間計	人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	人
訓告	人
年間計	人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	人	人	人
GPA等が下位4分の1	人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	人	人	人
計	人	人	人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。